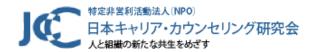


NPO-JCC主催



国重浩一先生 特別講座 (オンライン開催)

~組織、コミュニティ、個人の変革につながる ナラティヴ実践~

【開催日時】 2026年 |月24日(土) |0時~|7時(Zoom)

【講 師】 国重浩一先生 ナラティブ実践協働研究センター(NPCC)所属

【当日参加費】 一般: 15,000円(税込)、JCC会員: 13,000円(税込)

【録画視聴コース】視聴期間:編集終了公開後から|か月

参加費: 一般: 15,000円(税込)、JCC会員:13,000円(税込)

【お申込】 Peatixサイト(https://jcc25nal.peatix.com)

または JCCのホームページ(https://npo-jcc.org/)からお申込みください。

【講座概要】

オーストラリアのマイケル・ホワイトとニュージーランドのデイヴィッド・エプストンは、心理療法という 領域において、ナラティヴ・セラピーというアプローチを発展させてきました。

この2人の取り組みは、従来の個人の心理療法 の延長上に留まるものではく、哲学、文芸評論、歴 史学、文化人類学、民俗学など、さまざまな領域 の叡智を取り入れてきました。

そのため、ナラティヴ・セラピーの応用範囲は広く、心理療法以外の領域でも活用されてきました。 その領域とは、調停、修復的実践、組織開発などです。 そうなると、「セラピー」という用語ではうまく表現できなくなるので、「ナラティヴェアプローチ」と も表現されるようになってきました。



北大路書房 2025年11月出版

マイケル・ホワイトの亡き後、ダリッチセンターで活動しているデイヴィッド・デンボロウは、「共同的ナラティヴ実践」として、グループやコミュニティに取り組んでいます。

南アフリカのシュネ・スワートは、「世界を再著述する」という著書において、 組織に対して、ナラティヴ実践をどのように活用できるのかについても述べ ています。

組織を意識してナラティヴ実践を述べている文献は限られているので、 本書を翻訳する意義があると考え、出版しました。

今回は、シュネ・スワートが述べる「世界を再著述する」から抜粋しながら、ナラティヴ実践をグループ、コミュニティ、組織にどのようにして活用することができるのかについて紹介したいと考えています。

【講師紹介】

国重浩一(くにしげこういち)ナラティヴ実践協働研究センター所属ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。日本臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー協会員。2013年に移民や難民に対する心理援助を提供するためのニュージーランド現地NPO法人ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランドを立ち上げる。2019年には東京に一般社団法人ナラテイヴ実践協働研究センターを発足。日本キャリア開発研究センター理事。2023年9月から拠点をニュージーランドから滋賀県大津市に移す。

著書に、『ナラテイヴ・セラピーの会話術』『震災被災地で心理援助職に何ができるのか?」『ナラテイヴ・セラピーのダイアログ』『ナラティヴ・セラピー・ワークショップ BOOK I & II』『もう一度カウンセリング入門』など。

お問い合わせ先 : JCC事務局 電話番号 03-6806-0693

メールアドレス : info@npo-jcc.org ホームページ : https://npo-jcc.org/